



# 家畜の生産性を維持・向上する 暑熱対策に取り組みましょう！

今年も暑い夏がやってきます。暑熱により、採食量や受胎率の低下等が引き起こされ、家畜の生産性が損なわれることを防ぐためには、家畜が健康で快適に過ごせる環境づくりが大切です。

## 畜舎環境面から

### 畜舎内から畜舎温度を下げる

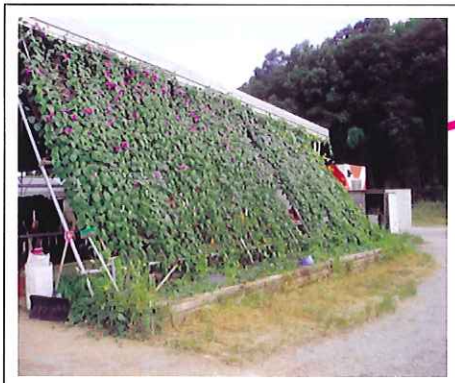
- ・換気扇や扇風機での送風
- ・家畜への直接送風・散水



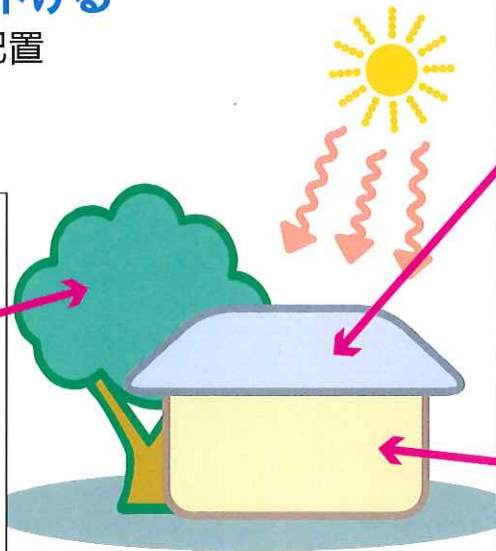
石灰の吹きつけ(宮崎県)

### 畜舎外から畜舎温度を下げる

- ・樹木や遮光ネット等の配置
- ・屋根・壁・床への断熱材の設置、塗装



ネットに植物を這わせる(兵庫県)



換気扇による送風(福井県)

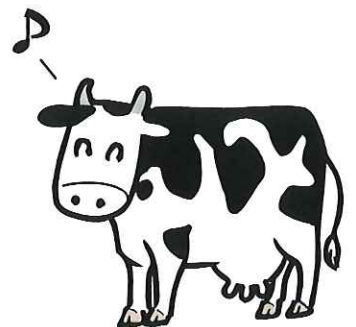
## 飼養管理面から

### ●密飼いを避けて、体感温度とイライラの低減●

- ・毛刈りの実施(牛)

### ●飼料給与等の工夫●

- ・冷たい水が十分に飲めるようにする
- ・涼しい時間帯に飼料給与するとともに、給与回数を増やす
- ・良質で消化率の高い飼料を与える
- ・必要に応じ、ビタミンやミネラルを給与し、栄養不足を補う



対策を組み合わせると効果的。早めの措置で、暑い夏を乗り切りましょう。

## 牛舎屋根への石灰塗布



### 取組の概要

地域名 : 宮城県  
経営状態 : 肉用牛  
飼養頭数 : 200頭



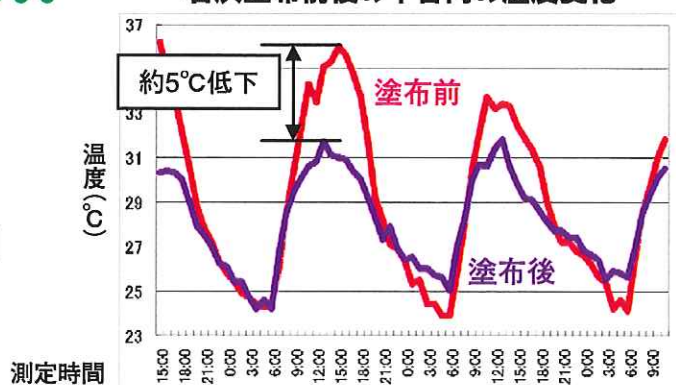
- 【塗布面積】 800m<sup>2</sup> (屋根材:ガルバリウム)
- 【作業人数】 5名
- 【材 料】 石灰(牛舎消毒用)、水、動力噴霧機、電動ドリル、かき混ぜ棒、ポリバケツ(大)
- 【塗布方法】 石灰を水に溶かして石灰乳を作り、動力噴霧機にて屋根へ散布する
- 【作業時間】 3時間(実質塗布時間:2時間)
- 【塗布面積あたりコスト】 33円/m<sup>2</sup>
- 【注 意 点】 ①石灰乳がダマにならないよう常にかき混ぜる(電動ドリルで攪拌)  
②長持ちさせるため、ムラなく丁寧に塗布する

### 効 果

- 屋根裏温度の変化 約 15℃低下
- 牛舎内温度の変化 約 5℃低下

- ・夏場の採食量が増えた結果、枝肉重量が増加し、出荷成績の改善につながった
- ・夏場の飼養管理がしやすくなった

石灰塗布前後の牛舎内の温度変化



## アカザを利用した鶏舎庇蔭(ひいん)



### 取組の概要

地域名 : 群馬県  
経営状態 : 採卵鶏  
飼養頭数 : 4,500羽

- 自作地の畑などに自生している雑草であるアカザを梅雨時に抜いてきて、すべての鶏舎(8棟)の東側と南側に移植。
- アカザは成長が早く、夏期には鶏舎屋根まで覆い、鶏舎内に日陰ができた。夏を過ぎると枯れるため、後処理も容易。
- 自生するアカザを用いるため、低コストで簡易。

#### 【注 意 点】

鶏舎内の風通し確保のため、アカザの下部の茎から出る枝や葉を切るなどの手入れが必要。

### 効 果

- 夏期の死亡羽数が激減  
実施前(H19年)約700羽 → 実施後(H20年)約40羽

